



4月号 令和4年4月7日発行

# 窪田小だより

横浜市都筑区窪田南町694番地 [Tel911-0149]  
[http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/eda/]



人とのふれあいから学ぶ学校でありたい

校長 伊藤 智樹

お子様のご入学・ご進級おめでとうございます。1年生が入学し令和4年度がスタートしました。教職員も新たなメンバーが着任しました。教職員一同、気持ちを一つにして新しいスタートをきりたいと考えています。引き続き、本市ガイドラインに基づいた感染対策を行いながら教育活動を実施したいと考えます。感染状況で行事の見直し・日程変更などが生じる可能性があります。その都度メール配信や学校HP等でお知らせしていきたいと思ひます。

コロナ禍の影響で、GIGA スクール構想の前倒し実施による一人一台のタブレット端末導入から1年が過ぎようとしています。私たち教職員も子どもたちもタブレットを活用した学習活動が日常的になりました。先日東北大学の脳科学者の「オンラインで心はつながるか 実は孤独に？」という実験の新聞記事を目にしました。概要は以下の通りです。

学生5人を一つのグループにして、対面とオンラインで会話してもらい、脳の活動を脳反応の周波数で測定し、それぞれの周波数を比較するもの。対面で顔を見ながら会話しているときには、脳反応の周波数が同期するのに、オンラインではそれが見られない。「脳活動が同期しないということは、オンラインで情報は伝達できているが、脳にとってはコミュニケーションになっておらず、感情が共感していない、つまり、相手と心がつながっていないことを意味する」  
【令和4年2月3日朝日新聞】

学校では紙・電子に限らず教科書を中心とした様々な媒体を用いながら知識を得たり、思考力や判断力、表現力を身に付けたりします。その学習形態は、話し合いだったり、体験活動だったり、ドリル学習的な反復学習だったり様々です。私たち教職員の使命は情報（知識）の伝達だけでなく、人と人が互いの思いや考え、願いをもとに話し合い、考えることでよりよい社会をつくっていくという感情の涵養ではないかと思ひます。知識もただ暗記するのではなく、その言葉の意味や背景を考えることで「生きた真の知識」となります。「デジタルとリアル双方の良さを生かし、窪田でしかない教材・教育環境を大切にする」これは本校が学校教育目標に掲げている内容そのものです。



コロナ禍で様々な学習活動が制限されてきた2年間でした。自分の考えはもちろんのこと他の人の考え方を聞き、議論をして、よりよいものを目指すことは学校教育において重要なことです。特に小学校はその基礎を培う場だと考えます。新型コロナウイルス感染症は、学校の重要な機能を弱めてしまう危惧を感じさせます。このような時だからこそ私たち教職員はできることを積み重ねていきたいと思ひます。

時代の変化に対応した教育内容を取り入れながらも、本校の伝統を守り、地域を核にした教育活動を大切にしていきたいと考えています。どうぞ変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

## 窪田小学校の学校教育目標

### 「つくろう明日 わたしはチャレンジャー」

- 【知】自ら考え、よりよく解決する力を育みます。
- 【徳】自分を大切にし、人を思いやる心を育みます。
- 【体・徳】豊かな体験を通して、健やかな心と体を育みます。
- 【公】つながりを大切にし、よりよく生きようとする力を育みます。
- 【開】コミュニケーションを通して互いの違いを理解し、ともに生きていく力を育みます。

